

令和3年度高知県環境審議会 議事録

日 時：令和4年2月8日（火）13:30～15:30

場 所：高知商工会館「光の間」

出席委員：一色会長、石川委員、大崎委員、岡崎委員、時久委員、平野委員、細川委員、横川委員

オンライン参加：佐藤副会長、今西委員、岩内委員、岡村委員、島内委員、高橋委員、
常川委員、長門委員、濱田委員、藤原委員、吉澤委員

事務局：林業振興・環境部部長、林業振興・環境部副部長（総括）、環境計画推進課、その他関係課

1 開会

2 林業振興・環境部部長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

審議に入ります前に会議録署名委員の指名を行います。

運営規程により会長が指名することとなっておりますので、時久 恵子委員と細川 公子委員
にお願いしたいと思います。どうぞ、よろしく申し上げます。

4 報告事項

（1）水環境部会

令和3年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について藤原部会長より資料1に基づいて
報告された。

（質疑応答なし）

（2）自然環境部会

「第13次高知県鳥獣保護管理事業計画の策定について」「第5期高知県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画の策定について」「第5期高知県第二種特定鳥獣（イノシシ）管理計画の策定について」
石川部会長より資料2に基づいて説明された。

【一色会長】

ただいまの説明について、質問はございますか。

（質疑応答なし）

【一色会長】

それでは、昨年2月に県から諮問のありました「第13次高知県鳥獣保護管理事業計画の策定について」「第5期高知県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画の策定について」「第5期高知県第二種特定鳥獣（イノシシ）管理計画の策定について」は県に答申したいと思います。

(3) 温泉部会

ゆう出量増加のための動力装置許可について、横川部会長より資料3に基づき報告された。

(質疑応答なし)

(4) 総合部会

高知県環境基本計画第五次計画の策定について、一色会長より資料4に基づき報告された。

(質疑応答なし)

5 審議事項

高知県環境基本計画第五次計画の取組状況について、環境計画推進課 井上課長より資料5に基づき説明を行った。

【一色会長】

先程、第四次計画の達成状況について、簡単に説明があったんですけども、未達成のところを中心にもう少し詳しくご説明いただけないでしょうか。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

70%以上達成で合格だと仮定すれば、70%超えてる指標は28項目中21項目になり、全体の75%が達成した状況になっております。クレジットの販売は、達成率が非常に低い結果になっており、他には、県内民有林の間伐面積が大体59%程度、施設キュウリでの天敵導入面積率が63%、施設カンキツ類での天敵導入面積率が60%となっております。ニホンジカの捕獲数は、3万頭の目標に対し、近年2万頭前後の捕獲となっており、達成率は67%ぐらいになっています。自然体験上級指導者受講者数の達成率は、70%程度となっておりますが、受講生のべ160人の目標に対して、平成30年度時点で、111人の実績となっており、平成31年度から他の事業と統合した関係上、その後の実績を把握できなくなっているところがございます。指導者の派遣につきましても、同じように、令和2年度から他事業に統合したことから、令和元年度実績で5団体、達成率が50%となっております。美化活動につきましても、75%の達成率となっており、コロナの影響により参加者が少なかったのではないかと考えております。

【一色会長】

指標に基づいて達成度を評価するときに、指標自身が、各年度ごとにどれだけ結果が出たのかを出しておりますけれども、累計での結果に基づいた達成度の評価をやっていますか。

例えば、今年度はイノシシやシカの捕獲数が少なかったもので、来年度は少し多めに捕獲しようとか、

今年参加者が少なかったから来年度は少し多めに呼んで実施をしようとか、そういう形の考え方になっているのでしょうか。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

基本的には累計ではなく、目標値として定めたものに対する実績値を押さえる形と理解しております。

【一色会長】

このことは、またあとで質問します。

それでは、オンラインの藤原委員からご発言があるそうです。よろしくお願いします。

【藤原委員】

整理番号1番の地球温暖化の話で2点質問がございます。

1点目が、温室効果ガス排出量の目標が令和12年に2013年度と比べて15%以上削減となっておりますが、国の目標においては、2030年度に2013年度比46%削減が目標として掲げられていますので、非常に大きな乖離があると思います。詳細については、後ほど高知県脱炭素社会推進アクションプラン等でご検討されてますので、その時にお伺いできればと思いますが、この目標を次年度以降、46%削減の目標に近づけるような方向性で、改定されるご予定があるのかを教えていただけたらというのが一つ目です。

2点目が、国全体での目標達成に向けて、全国100か所の脱炭素先行地域の募集が始まっていると思うんですけども、高知県或いは県内の市町村で、脱炭素先行地域への積極的な応募をされているところはあるのでしょうか。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

1点目の15%以上削減という目標値につきましては、アクションプランで目標値を引き上げることとしております。国は46%削減ですが、本県は今のところ、47%以上削減という形で目標値を引き上げる予定です。

2点目の脱炭素先行地域につきましては、現在、募集が開始されており、今募集されているものに応募したいという団体が1団体ございます。今は間に合わないけれども、第2次募集とか来年度には手を挙げたいという団体は、3~4団体ぐらいは県内にはある状況でございます。県でもこういった団体がどんな提案ができるのかを市町村と一緒に考えていく形で一緒に汗をかいているところでございます。

【高橋委員】

先程、シカ捕獲についてのご説明がございました。これまで、年間3万頭シカは捕獲していこうという県の計画がありました。高齢化により、狩猟者も減ってきてるんですが、当初の計画がない時か

ら言えば、3万頭の計画を立てることで、捕獲率も高まり、捕獲頭数が上がってきたところです。来年度から、目標が3万頭から2万5千頭になったんですが、この2万5千頭も簡単な数字ではありません。狩猟者の高齢化であったり、色んな技術を駆使しても、高知県の厳しい山の地形の中で、約20%捕獲数を高めなければなりませんので、現実的には厳しい数字であろうと思います。しかし、一定捕獲数を高めていくためには、一つ大きなハードルを掲げて、取り組むことも当然必要だろうと思いますので、高く評価をさせていただきたいと思います。その一方で、捕獲後の有効利用を図ることが求められてるんですが、高知県の場合、有効利用率が大きく上がってるわけではございません。ジビエ等々で、今色んな展開をしていますが、高知県が先んじてる状況ではありません。和歌山県は、学校給食にもシカ肉を出したりして、県を挙げて取り組んでいます。ジビエを振興するに当たっては、鳥獣対策課だけで進めて、シカ或いはイノシシの肉を有効利用を図ることは出来ないと思います。他県の有効利用してる場所は、他の課と連携し職員の増員をして、ジビエの振興をしていくことが求められてる訳で、この状況で進んでもジビエ振興にはつながりません。こういったことを進めていくには、これからの5年間で、色んな工夫ができると思いますので、予算を入れ、人材も入れ、そして他県の状況を見て、とった肉をできるだけ有効利用させていただきたいと思います。

それともう一つ、最近、銃猟者より罠猟者が非常に多く増えてます。ありがたいことではありますが、現場の山に行くと、名札の無い罠、年度を過ぎた罠等があって、このことを是正して適正狩猟につなげていかなければなりません。各市町村の職員、高知県の鳥獣対策課の職員、或いは、警察の方、それとは別に鳥獣保護管理員が県内に53人おいでということですので、せっかくこういった制度を設けてるので、この人達にも積極的に動いていただくことが必要です。例えば、高知市の鳥獣保護管理員は警察のOBの方を起用してます。退職して時間のある方や経験のある方に、積極的に関わっていただくことが必要で、高知市では、そういった方を、保護員として推薦させていただいておりますが、いかんせん、この人達の出猟した時の手当、報酬は大変低うございます。しっかりした仕事をしてもらうためには、ある程度の予算を入れて、この人達にも現状を把握していただいて、適正狩猟に向けて、一丸となって取り組んでいくことも求められていると思います。

もう1点、豚熱についても昨年度、高知県の畜産振興課からの依頼で、高知県猟友会で50頭のイノシシを捕獲させていただいて、血液検査の結果は、全て陰性でした。近畿、中部等では、豚熱でイノシシは激減している状況で、淡路島まで豚熱が発生してますので、徳島県で発生するのは時間の問題だと我々は思ってます。来年度は、県の畜産振興課で、300頭検査するというのでございますので、我々も協力させていただくつもりです。ただ、豚については全てワクチンを打ってますが、イノシシも、豚熱に罹らないために、ワクチンを山に撒く、そういった対策が必要だと思います。

【事務局：林業振興・環境部 中村部長】

ジビエにつきまして、私、中山間振興・交通部の副部長をやっております、ジビエに力を入れてやっております。中山間振興・交通部がしっかりやっていくことが基本だと思いますが、鳥獣対策課だけがやってるわけではなく、中山間振興対策本部という知事をトップとした全庁組織がございまして、その中で、ジビエ振興についても審議しています。鳥獣対策課を初めとした中山間振興・交

通部、そして我々もご協力しながら全庁一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

【事務局：鳥獣対策課 山崎課長】

ジビエの関係につきましては、他の部局の方にもご協力をいただいております。今年度は、地産地消・外商課と連携して、関西圏などのバイヤーとの商談会に、加工処理施設の方に参加していただき、実際にサンプル出しなどの対応がされている状況でございますので、今後もこのような形の支援を続けていきたいと思っております。

法令遵守の関係につきましては、色々な関係機関の方を含めてご協力をいただいております。特に警察との連携も今後強化していかなければならないと考えております。

豚熱に関しましては、農水省と環境省が連携して取組を進めているところでございます。来年度に向けて野生イノシシへの経口ワクチン散布などの要請が国から来ておりますので、関係団体の方や畜産振興課と調整しながら取り組んでいくことが必要だと思っております。

【高橋委員】

先程のそれぞれの発言の中身は、これまでも、我々から提案してきたんですが、変わってきた感じを受けませんので、あえてここで発言をさせていただきました。

もう1点、罠による捕獲が進んでいますが、最近、罠猟の中での止め刺しの時に事故が多いんです。猟銃持ちの方もどんどん減って、今、高知県猟友会で約1,700名ぐらいが猟銃による狩猟に参加をしています。警察庁からは、銃猟者は射撃技能の維持向上に努める義務を求められており、射撃場で練習してから猟に参加してくださいと言われていたんですが、罰則規定がないだけに、この実績は上がってません。他県の事故等を見ても、グループ猟での事故が多発していますので、県内では、令和元～3年度の3年間で西部、中部、東部と分けて、射撃練習を行ったところです。有害駆除は市町村がシカ、イノシシ、猿等の捕獲をしてくださいということで市町村長が許可を出してるんですが、射撃練習については、高知県では香美市と土佐清水市と四万十町が完全実施してます。射撃場でクレー射撃するには1人当たり2,700～2,800円と弾が必要です。弾代、或いは射撃代は、市町村が出すべきなんですが、市町村にもばらつきがありますので、県が音頭をとることを提案をしていきたいと思っております。

【事務局：林業振興・環境部 中村部長】

恐らく先程の質問と同じであえて仰っていると理解しております。ただ、10数名の委員の方がいらっしゃると思いますので逐次説明していきますとなかなかお時間取りそうだと思いますので、鳥獣対策課から別途ご説明ということでご容赦いただけませんかでしょうか。

【高橋委員】

はい。

【岩内委員】

整理番号2について、アウトプットが1件というのは寂しいなと思ひまして、こちらの制度で、小学校や公民館、避難所等に設置することは出来ないのかなと思ひました。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

この事業は、対象が福祉避難所もしくは医療救護施設、病院、こういった災害時に住民の方々が利用する場所という限定があり、今年度の予算枠は3件程度の予定でした。元々数が少ないことがございますが、小学校等につきましては、この補助金と別に国の補助金等がございますので、こちらでの実績が少ない現状でございます。

【一色会長】

それでは少し時間をかけて資料を見ていただいて、ご意見、ご発言をまとめていただく時間もかねて5分間の休憩をとりたいと思ひます。私の時計で14時47分まで5分間休憩をいたします。

**** 休憩 ****

【一色会長】

それでは、審議を再開いたします。

ご意見ご質問等がある方はお願いいたします。

【石川委員】

先程、指標に関する事で、一色会長からご意見がありましたが、自然環境部会では毎年、生物多様性こうち戦略の進捗管理をやっており、その時に、年度末の達成率の変化を集計した表を添付しています。添付していただくようになってから、5年ぐらい経つんですけど、それまでより分かりやすくなって、なぜ達成出来ないのかという原因の究明もしやすくなったように思ひます。この環境基本計画に関しても、年度別の変化を示していただくと、より理解しやすくなるのではないかと思ひますので、検討をお願いします。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

ご意見を踏まえまして、年度別に見せる等の検討をさせていただきます。

【一色会長】

先程、第五次基本計画の達成度に関して、達成の評価に累計を評価するという仕組みはないのかという質問したんですけども、細かく指標を見えますと年度ごとに集計をしないと意味がない指標と、計画全体としてどれぐらい達成したのかを累計で評価したほうがいい指標とがあると思ひますので、整理した上で、評価の検討していただけたらと思ひます。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

指標を改めて見ますと、単年度でやってるものと累計でとってるものがあったりしますので、指標ごとに中身を見て、達成率の分析をしたいと思います。

【長門委員】

普及活動の実績が17～18ページに載っていて、数字等も入ってるんですけども、例年に比べたら多くなっているとか、計画通りに100%出来たのか、それとも色々な事情で、8割ぐらいしかできてないとか、どう評価したらいいのかを教えてくださいたいです。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

17～18ページに記載している項目につきましては、1月21日時点の数字を書かせていただいている状況です。来年度の第1回目のときには、令和3年度の実績値が出てきますので、目標値に対する進捗度は出るかと思えます。来年度の審議会では、一定分析を加えた上でお示しさせていただきたいと思いますが、今年度はまだ1年目の途中である関係もありまして、こういう数字だけの羅列とさせていただきます。

【長門委員】

次回ぜひ評価を加えて報告をお願いしたいと思います。

【一色会長】

基本計画の進捗状況については従来、年度末に近いところで前年度の評価の審議をする形になっていましたが、その時には当年度ほとんど終わりかけてることから当年度の対策を議論してもあまり意味がないということで、審議会での進捗状況の審議は年2回でどうかと提案されていたと思います。先程の話だと各年度のデータがまとまるのがいつ頃なのかよく分からなかったんですけども、目標としていつ頃に設定しているかを教えてください。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

指標によってばらばらなので、一律この時期と申し上げにくいんですけども、第1回目の審議会を7月頃に開催させていただく予定ですが、その時点で出てないものの中にはございます。7月時点で、出ているものをまとめて、その項目が今どんな状況なのかをお示しさせていただく方法かなとは思っております。

【一色会長】

項目数について、割合としてどれぐらいのものが7月時点でまとまりそうなものですか。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

第五次計画の目標値全てがいつ頃かを調べたデータがないので、今すぐはお答えしにくいです。

【一色会長】

分かりました。では、第1回の審議会のときをお願いします。

今回の時点ではまだ基本計画初年度が終了してないということもありますし、先程の話では、指標がきちんとまとまるのが1月頃になる状況ですので、特にお気づきの点等がなければ、この審議はこれで閉じたいと思いますがよろしいでしょうか。

【常川委員】

例えばということで、この進捗管理シートの総括表の整理番号1、エコアクション21の認証登録事業者数の現状がR2は242社、R3で225社ということで、減っている状況が見て取れます。目標は、増加という形になってるんですけど、高齢化とか、会社の数が減ってくるとか、社会的な要因で、数を増やしていくことが難しいところがあるんじゃないかなって感じるんですけど、その辺りをどう考えていくのかを教えていただければなと思います。

一つ提案として、数を増やすだけでなく、例えば質とかナンバーワンとかオンリーワンとか、そういった形で牽引していく企業を応援するとか、色々やり方があるんじゃないかなと思いましたが、現時点で、この提案に関してご意見補足をいただけるようでしたらお願いします。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

エコアクション21につきましては、県民会議の事業者部会で取組を進めています。やめる理由については、事務的にしんどい等もありますが、エコアクション21より上のISO14001にランクアップ、よりグレードアップしていくことでやめられている事業者も多いと聞いています。この実績値を出すときに、どういう理由で減ったか、増えたのかを補足する形で説明させていただくようにしたいと思います。

【一色会長】

常川さんの意見の中に、質の評価というのがあったかと思うんですけども、なかなか質を評価するのは難しいと思うんですが、その辺のことにに関してどういう取組が考えられるでしょうか。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

例えば、エコアクション21で継続されてる事業者の取組の内容がより質が上がったという評価ということでしょうか。

【一色会長】

要するに、頑張ってるところにもっと応援メッセージを送るような取組ができればいいんじゃない

かという意見です。検討してみてください。

【事務局：林業振興・環境部 中村部長】

常川委員さんと会長のご意見を踏まえて、更なるパワーアップ策、例えば表彰制度とかというご提案いただきましたので、今の時期なんで下手したら1年越しの結果かもしれませんけど、検討はさせていただきますと思います。

減ってる増えてる、もっと増やすべき。或いは別のバージョンを作ってみるとか、色んな強化策があろうかと思しますので検討させていただきます。

【一色会長】

それでは基本計画の進捗状況に関する審議をこれで閉じさせていただきます。なお、この基本計画は引き続き取り組んでおりますので、お気づきの点ありましたら随時、事務局の方にご意見を届けていただきましたら事務局の方で精査をしていただいた上で、取扱いを検討する形にさせていただきますと思います。

6 諮問事項

(1) 白髪鳥獣保護区特別保護地区の指定について

白髪鳥獣保護区特別保護地区の指定について、鳥獣対策課 山崎課長より資料6に基づき説明を行った。

【一色会長】

ただいまの説明についてご意見、ご質問はありませんか。

(質疑応答なし)

【一色会長】

ないようでしたら、本案件は自然環境部会に付託することとしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

【一色会長】

ご異議がないようですので、本案件は自然環境部会に付託いたします。

(2) 水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定の変更について

水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定の変更について、環境対策課 杉本課長より資料7に基づき説明を行った。

【一色会長】

私の方から一つ質問ですけれども、類型指定変更にあたって、水の利用者から意見聴取をする必要は特にないのでしょうか。

【事務局：環境対策課 杉本課長】

今回は、3つの考え方ということで、県指定の河川ということでやらせていただいておりますので、意見聴取ということ出来てないんですけれども、その他にBとかCとか、河川のAランクの類型になっているもので、従来のBODだけでは少し、人の感覚と違うというそういった雰囲気もございますので、そういったところは周辺の方であるとか、各種の経験者のご意見を踏まえて、また水環境部会中でご審議をいただく形にしていきたいと考えております。

【一色会長】

特に今回のものについては必要がないということですね。

【事務局：環境対策課 杉本課長】

今回の分については意見聴取はしていません。

【事務局：林業振興・環境部 中村部長】

どういう場合にやり、どういう場合にやらないかがあると分かりやすい。

【事務局：環境対策課 杉本課長】

特段決まったルールはないんですけれども、当然、近隣市町村のご意見を聞いていますけれども、広く県民の方にご意見を伺うところまではやっておりません。

【一色会長】

その辺のことは改めて水環境部会で説明をいただきたいと思います。

【事務局：環境対策課 杉本課長】

以前から水環境部会の中でも、例えば今Aランクになってる物部川下流の山田堰が、実はBODだけでいうと、3年近くAでいってますので、単純に当てはめるとAAランクっていうことになろうかと思えますけれども、人の感覚と累計っていうのが変わってくるんじゃないかとかのご意見も水環境部会の中でもいただいて、その辺慎重に検討していきたいと考えております。

【一色会長】

他にございませんか。

ないようでしたら、本案件は水環境部会に付託することとしたいと思いますますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

【一色会長】

ご異議がないようですので、本案件は水環境部会に付託いたします。なお、各部会に関する案件につきましては、高知県環境審議会運営規程第6条の3の規定により、部会の決議は会長の同意を得て審議会の決議をすることができることとなっておりますのでそのように取り扱いたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

【一色会長】

ご異議がないようですので、部会の付託した案件につきましては部会の決議の後、会長の同意を得た上で審議会の決議といたします。

7 その他

高知県脱炭素社会推進アクションプラン素案について、環境計画推進課 河野企画監より資料8に基づき説明を行った。

【一色会長】

このアクションプランにつきましては、策定するための協議会で審議しておりますので、この審議会では、高知県環境基本計画と関係している事項のみの質問等を受けたいと思います。

私のほうから1点だけ。このアクションプランの中に風力発電の普及があって、かなり大きな目標を掲げております。一方で、環境影響評価技術審査会等での審議では、高知県の適地は殆どが山地の山稜線ということで、まず、野鳥との関係で非常に大きな問題が生じるのではないかと、或いは、その景観上、何も無い自然の山の上に風車が林立する景観上の問題であるとか、或いは、非常に雨が多いいということで、施設を造ることによって、土砂崩れ等の危険災害の頻度が上がるんじゃないかと、或いは、その近隣住民の騒音被害という形で環境に対する影響はかなり大きいということが指摘をされていて、どう返すかが難しい状況になっています。先程の計画の説明の中で地元に対する説明が十分でないという説明があったんですけども、環境への影響はこういう大きな建築物をつくと避けられないわけで、どこまで妥協して、どこまでは許さないのかを一定明らかにしておかないと、影響があるから駄目だとなった時につくれないということになるんじゃないかと思っておりますので、その辺の調整をどのようにするのか、もしお考え或いは今後こういうふうな形で対策をしていくということがありましたら説明をお願いいたします。

【事務局：自然共生課 松尾課長】

環境アセスメント制度につきましては、環境影響評価技術審査会で検討していただいているところなんですけれども、まずはアセスメントに基づいて審査をしていくことが重要だとは思っています。法律に基づいてその規模、要件もありますので、制度に基づいて行うのが前提で、住民等の意見につきましても、開発業者に、事前に説明して賛同いただけるように最大限の努力をしていただく方針でやっています。いただいているのが現状でございます。

【事務局：環境計画推進課 河野企画監】

補足ですが、導入目標の数値につきましては、アセスの結果もまだ出てない部分がございます、今計画をされているものを積み上げたものになっております。特に大規模な風力発電は、一定時間がかかるということもございますので、2030年までに動く可能性があるものは、今も計画されているもの以外にはほぼないだろうということで、風力発電等はこうした導入目標を立てさせていただいてるところでございます。

【岩内委員】

こういう計画を推進する上でカーボンニュートラルを目指したが故に、環境破壊が起こるような結果になってしまうのが1番私は怖いところなので、その辺をよく考えて、お互いに知識を深め進めていったらいいなと思います。

【事務局：環境計画推進課 井上課長】

特に風力発電が大規模なものになっておりますので、そこら辺が目標値に計上されることは不安・懸念する点だろうと思います。風力発電につきましては、アセスメントを通じて環境への影響は一定評価がされるようになっており、結果としてその風力発電の建設が仮に出来ない事態もあろうかと思っております。そういった事態になった場合は、今、風力発電で押さえてる系統の枠がありますので、それが太陽光発電に変わったりとか、色々再エネにも形態ございますので、今は目標値として、計画されているものを積み上げています。何が何でもこの風力で目標に向かうのではなくて、地元の皆さんと地域と調和した事業が大前提になってきますので、そこはご理解いただければと思います。

【岩内委員】

太陽光発電は太陽光発電なりに問題があるみたいなことをお聞きしておりますし、風力発電ももちろん。でもそれは、各地域の特性を生かした形になってくると思います。私が1番危惧するのは原発なんですけど、あれは究極の環境破壊だと思っておりますので、その辺のことも、高知県から発信していけたらいいなと思いました。

【一色会長】

オンラインの参加の委員さん2人から手が挙がっておりますので、順番にお願いいたします。まず、常川委員さんからお願いします。

【常川委員】

今回の計画推進に向けて、県庁並びに関係のステークホルダーとの連携体制の中で、予算とか人員の補強等が予定されているのかということ、二つ目は、国の脱炭素先行地域というのが素案の概要の中にも出ていましたが、県内の自治体でどれぐらいあるのかを差支えない範囲で教えてもらえたらと思います。

【事務局：林業振興・環境部 中村部長】

予算につきましては近々発表させていただきますけれど、令和3年度当初よりも大幅に増額していく予定でございます。体制につきましては、今年度この環境計画推進課という新しい課をつくりまして、企画監もおく形で強化しており、次年度以降は、この体制で進んでいきたいと考えております。

脱炭素先行地域は、確実に第1回20か所程度に枠に対して手を上げるだろう団体が1自治体、第2回、第3回と若干年次を広げていくと、3～4団体はあると思っております。

【藤原委員】

重点施策の一覧とKPIを示していただいているんですけども、これらのKPIが2030年に達成された時に、47%削減にどのようにつながるのかが、この資料では見えません。それぞれの項目の達成によって、どれだけのCO₂削減につながるのかを積み上げながら、KPIが達成されたら確実に、47%削減につながる形で資料を作成していただくのが目標達成に向けて重要なと思いますのでよろしくお願いいたします。

もう1点が脱炭素先行地域について、国全体としても100選んだ地域に集中的な取組をしつつ全国に横展開をしていく趣旨だと理解しています。県が応募自治体に、二人三脚で取り組むのに加えて、応募自治体の取組を県内で横展開をしていくような計画も考えていただくと良いのではないのかなと思います。

【事務局：林業振興・環境部 中村部長】

県がこの計画をつくることにより、各市町村さんが区域施策編をつくっていく中で、一気に横展開を広げていきたいと考えております。この考え方は、市町村さんからも高く評価させていただいて期待されているところです。

このKPIは、こちらの施策のKPIでございまして、これと削減量がリンクしていないんじゃないかとの意見がありましたが、おっしゃるとおりでございます。

削減量自体は87の指標を達成した場合に積み上がっていくということで、47%は積み上げでございます。その87の指標を達成するために、直接効く事業もあれば、間接的にしか効かせられない事業もございますので、まずは事業の進捗ということで明らかにしておりますけれども、これらの事業の

KPIを達成していくことで、間接も含め87の積み上げ指標の削減が達成される。しっかりギアが噛み合っただけという形には見えないかもしれませんが、一定事業達成と指標達成と47%以上が噛み合う形に可能な限り積み上げてたところで、ご指摘のような部分でございまして、庁内でも議論させていただきましたが、全ての施策を全ての削減量に噛み合わせて積んでいくとなりますと、施策自体が、オールジャパン、国施策、市町村施策、行動変容ありとあらゆるものを組み合わせるということで、実務的に困難な部分もあるということでございます。ただ、直接大きく削減に結びつくようなもの、或いはグリーン化関連産業の育成につながるものにつきましては重点としてKPIを置いてるところでございます。

【一色会長】

まだまだご意見ご質問あろうかと思っておりますけれども、会場の使用時間の関係でそろそろとさせていただきます。また、お気づきの点等がございましたら事務局のほうに電子メール、書面等でご連絡いただくようお願いいたします。

【高橋会長】

すみません、少しご意見を述べたいんですが、今日の会議で、県庁の皆さんの声は聞こえるんですが、映像がありません。会議用の高知県ホストと書いてるんですが、答弁者も全く映像が見えないんです。私、環境省の委員もしてるんですが、環境省は、担当者の映像配信をされてますので、そのことを検討していただきたいと思っております。これだけの多くのメニューを2時間足らずで審議してるんですが、もう少し時間とって審議をするということが大事ではないかと思っておりますので申し上げておきたいと思っております以上です。

【一色会長】

はい、それでは以上をもちまして環境審議会を閉会いたします。